

戦略企画会議から

Progress Report from the Strategic Planning Committee

戦略
企画
会議

戦略企画会議第四委員会「政策提言活動と啓発活動」の活動報告

戦略企画会議第四委員会「政策提言活動と啓発活動」の活動報告

戦略企画会議第四委員会の使命は、政策提言活動や啓発活動を通して、国民、行政および医療界における、眼科医療および眼科学のプレゼンスを向上させ、それをもって視覚に関する健康・医療・福祉に貢献することです。

長期的な目標としては以下のことを挙げています。

- ① 国の健康医療戦略へ感覚器(視覚)に関する政策を盛り込み、感覚器疾患対策基本法の成立、感覚器(視覚)大型研究事業の立案、診療報酬の改善などにつなげる。
- ② 迅速かつ適切な広報活動のための組織体制を整備し、メディアの有効活用により、視覚情報とこれを与える眼科学の重要性を国民に対して啓発する。
- ③ 行政から適正な評価を得て、診療報酬の改善を図る。
- ④ 優秀な医学生や研修医を積極的に確保し、眼科医の増加を図る。

戦略企画会議で提案し決定した内容は、日本眼科学会と日本眼科医会、眼科関連団体から構成される日本眼科啓発会議(以下、啓発会議)で立案・実行しております。啓発会議は3つの分科会、すなわち第一分科会：広報事業、第二分科会：政策提言事業、第三分科会：学生・研修医啓発事業を設置しており、第四委員会メンバーは各分科会の委員として事業活動に参加しています。

本稿では第四委員会の最近の活動について報告します。

1. 本委員会の構成

委員長：杉山 和久(常務理事)

副委員長：辻川 明孝(常務理事)，外園 千恵(常務理事)，井上 幸次(理事)

委員：門之園一明(横浜市大)，瓶井 資弘(愛知医大)，村田 敏規(信州大)，野中 隆久(日本眼科医会)，平塚 義宗(日本眼科医会)

2. こどもの目の日

子どもの目の成長を見守り、一生涯の目の健康維持と増進の基礎を培う意味で「こどもの目の日」を6月10日に創設することになりました。日本眼科啓発会議から、記念日登録申請を行い受理されました。子どもの目は6歳ぐらいいままでに視力1.0に発達するので、それにちなんで6月10日としました。子どもの目の健全な成長を、弱視や近視から守る意味で、第77回日本臨床眼科学会で下記のシンポジウムを開催します。

第77回日本臨床眼科学会シンポジウム「子供の眼を守る」(仮題)

オーガナイザー：白根 雅子(日本眼科医会/しらね眼科)，杉山 和久(金沢大学)

1. 「母子保健の最近の動向」(仮題)

山本 圭子(厚生労働省子ども家庭局母子保健課)

2. 「小児の弱視から目を守る」(仮題)

佐藤 美保(浜松医科大学)

3. 「小児の近視から目を守る」(仮題)

大野 京子(東京医科歯科大学)

4. 「子供の目を守る日眼医の取り組み」(仮題)

柏井真理子(日本眼科医会/眼科柏井医院)

3. メディアを活用して眼科学の重要性を啓発

メディアの有効活用により、視覚情報とこれを与える眼科学の重要性を国民に対して啓発することが本委員会の使

命です。日本眼科学会と日本眼科医会と共同で日本眼科広報委員会を設置して、下記の記者懇談会を企画しました。メディアへの情報発信をタイムリーに行い、視覚情報と眼科学の重要性を国民に向けて啓発していきたいと考えています。

第21回日本眼科記者懇談会〔Web開催〕

日時：2022年6月2日(木)18:30~20:00

テーマ：「働き世代の皆さん、在宅ワークで目が疲れていませんか？」

◇「疲れ目(眼精疲労)ってなんだろう？」

加藤 圭一(日本眼科医会/かとう眼科医院)

◇「ドライアイによる眼精疲労」

堀 裕一(東邦大学医療センター大森病院)

◇「さらば眼精疲労！輝く瞳を取り戻すキーはまぶた・まばたきにあり」

高 静花(大阪大学)

◇「眼鏡・コンタクトレンズの不具合による眼精疲労」

川守田拓志(北里大学)

第22回日本眼科記者懇談会〔Web開催〕

日時：2022年9月1日(木)18:30~20:00

テーマ：「いまあらためて緑内障を知る/考える：失明する原因の第1位」

◇「緑内障啓発のための広告活動」

加藤 圭一(日本眼科医会/かとう眼科医院)

◇「緑内障とアイフレイル」

杉山 和久(金沢大学)

◇「緑内障早期発見のための啓発活動」

岩瀬 愛子(たじみ岩瀬眼科)

◇「緑内障からQOLを守る」

福地 健郎(新潟大学)

第23回日本眼科記者懇談会〔Web開催〕

日時：2023年1月19日(木)18:30~20:00

テーマ：「病気かもしれない!? なみだ目のおはなし」

◇「病気かもしれない!? なみだ目のおはなし」

加藤 圭一(日本眼科医会/かとう眼科医院)

◇「切らずに治すなみだ目治療最前線～マイボーム腺機能不全編～」

有田 玲子(伊藤医院/Lid and Meibomian Gland Working Group)

◇「目にもシワができる?! 結膜弛緩症のおはなし」

田 聖花(東京慈恵会医科大学葛飾医療センター)

◇「涙道疾患の診断と治療」

宮崎 千歌(兵庫県立尼崎総合医療センター)

4. 「アイフレイル」に関する啓発活動

「アイフレイル」をキーワードとして視覚情報の重要性を国民や行政に対して啓発し、視覚障害により日常生活が制限される人、人生の楽しみや快適な日常生活が制限される人を減らすことを目指しています。健康で楽しい人生をおくるために、そして健康寿命の延伸のためには視機能が重要な役割を担っています。視覚障害の予防、早期発見を促すためにも、政策提言をしていくためにも、視覚情報の重要性を広く国民と行政に対してアピールしていく必要があります。

本委員会は「アイフレイル」の普及啓発プロジェクトの第2期(内部浸透)事業を実施しました。具体的には、新

間、雑誌などのマスコミを利用した啓発活動を行いました。また、厚生労働省が毎年実施している「職場の健康診断実施強化月間」の実施要項に眼科検診の実施推進が新たに追加され、「アイフレイルチェックリスト」が推奨されました。さらに、アイフレイルアドバイザーを新設し、現在、500名程度の登録があります。アイフレイルを含めた啓発活動として、第76回日本臨床眼科学会と第127回日本眼科学会総会に下記シンポジウムおよび市民公開講座を行いました。

第76回日本臨床眼科学会シンポジウム「眼科啓発活動への期待と展望」

オーガナイザー：杉山 和久(金沢大学)、辻川 明孝(京都大学)

1. 「3歳児眼科健診のトピックスについて」
柏井真理子(日本眼科医会/眼科柏井医院)
2. 「ライトアップ in グリーン運動のメッセージ」
岩瀬 愛子(たじみ岩瀬眼科)
3. 「日本眼科啓発会議によるアイフレイル対策プロジェクト」
平塚 義宗(日本眼科医会/順天堂大学)
4. 「小児の近視の予防と治療」
大野 京子(東京医科歯科大学)

第76回日本臨床眼科学会市民公開講座「人生100年時代の目の健康」

司 会：飯田 知弘(東京女子医科大学)

座 長：福田 敏雅(東京都眼科医会/福田眼科医院)

1. 「ご存じですか、アイフレイル」
山田 昌和(日本眼科医会/杏林大学)
2. 「緑内障から目の健康を守る」
杉山 和久(金沢大学)

第127回日本眼科学会総会シンポジウム「フレイル関連研究の進歩」

オーガナイザー：杉山 和久(金沢大学)、辻川 明孝(京都大学)

1. 「アイフレイル対策とエビデンス」
福岡 秀記(京都府立医科大学)
2. 「オーラルフレイル」
平野 浩彦(東京都健康長寿医療センター)
3. 「フレイル」
山田 実(筑波大学人間系)
4. 「コグニティブフレイル」
櫻井 孝(国立長寿医療研究センター)

5. 優秀な医学生や研修医を積極的に確保し、眼科医の増加を図る

第二期戦略企画会議では2012年から「眼科サマーキャンプ」を開始し、これまで初期研修医・学生への啓発活動を行ってきましたが、2020年3月の第9回眼科スプリングキャンプをもって最後の開催となることが決定していました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止となり、眼科キャンプは、質を重視したリクルート内容での事業として、2021年より再出発しました。2022年は下記の眼科オンラインキャンプを実施しました。

眼科 ONLINE SESSION FOR NEXT GENERATION 2022

目 的：未来の眼科ドクターに向けた眼科の魅力啓発

対 象：初期研修医(1・2年目)、医学部学生(5・6年生)合計200名(先着順)

実施方式：Zoom ウェビナー/YouTube Live によるオンライン開催

配信日時：2022年5月21日(土)[ライブ配信] 14:00~16:00

[再配信] 18:00~20:00

参加費：無 料

募集期間：2022年2月21日(月)~4月30日(土)オンラインによる申し込み

会 場：東京証券会館(東京都中央区)

申 込 者：281名

初期研修医2年目：91名，初期研修医1年目：78名

医学部学生6年生：51名，医学部学生5年生：61名

最 後 に

本委員会が担っている「政策提言活動と啓発活動」は，国の動向を見据えながら中長期スパンで設計し，目標の実現に向けて事業を展開していく必要があります。「政策提言活動や啓発活動を通して，国民，行政および医療界における，眼科医療および眼科学のプレゼンスを向上させ，それをもって視覚に関する健康・医療・福祉に貢献する」という本委員会の使命を達成するため，引き続き日本眼科学会会員の皆様，日本眼科医会と眼科関連団体からのご協力とご指導のほど，何卒よろしくお願い申し上げます。

日本眼科学会戦略企画会議第四委員会「政策提言活動と啓発活動」
委員長 杉山 和久